

# 水辺に遊ぶ会通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No. 38

2009・春の号

発行  
NPO法人  
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35  
TEL&FAX. 0979-23-5320

## 里浜

曲里浜 千葉一津洋國

▼「ひがた」なんて言葉もよく知ら  
ない。我々が、長靴はいて、おつかな  
びっくり泥んの中に踏み出したと  
のひらに乗るほどの力プトガニだつた  
と。初めて見る不思議な生きものに、手  
ただただ驚いて見つめることしばし。  
ふと気がつくと、あたり一面から聞  
こえてくる小さな小さなぶやき。泥の上に数え  
切れないほどの生きものが動いているのを目に  
して、また

▼いや、危なっかしいことこの上  
ない。「水辺に遊ぶ会」の活動が、な  
なーんて言つてた私たち。この夏に  
は11年目に突中よ。へっぴり腰でや  
すかね?」「石の上にも3年つて言う  
じゃない。あと1年は頑張るのよ」  
モトマロさん、いつまで続けるんつ  
うかね?」「

刊一面に、なななんと、「海の国  
立公園新設」という記事。おお、し  
かも知床半島と沖縄石西礁湖なんて  
ビッグネームにはまれて載つてゐ  
るのは我らが中津干潟の航空写真。い  
やーん、一足早い初夢?お年玉?  
スイートテン?なんて喜んだのも  
つかの間。環境省様から「万セネタ  
とのお返事。しょほん。でも、北海  
道と沖縄に肩並べるなんて、中津干  
潟もなーんて出世したんでしょ、と  
思うことに…。

次の10年がたったとき、私たちは何をしてるだ  
ろう。その時も、干潟遊びを通じて、子ども  
たちや地域の人と共に、やさしい心を育てて  
いられるといいなと思う。そして、自分たちの  
活動に誇りを持ち続けて歩いていたいと思う。

▼つたない活動を支えてくれた日本  
中のみなさん、この誌面を読んで  
いるアナタに感謝感謝。そして、  
いつも変わらず豊かで幸せな自然を  
供してくれる中津干潟と生きもの  
に感謝感謝なのである。そして、  
これからも、相も変わらずのごひい  
きをお願いいたします。

え? 10周年記念行事? 盛大に?  
う、うーんと、どうしようか。実は  
うつかりすつかり何にも考えてな  
つたのである。妙案がある方は  
是非務局まで!

■活動報告(2008.10.1~2009.1.31)

- 10. 5 三百間浜清掃参加(北部小PTA)
- 10. 7 高円宮妃殿下昼食会
- 大銀経済研究所よりヒアリング
- 10. 9 北部小学校4年干潟学習ゲストティーチャー
- 10. 11 イオン三光SC山国川清掃参加
- 山国川学習館川魚漁体験運営
- 10. 13 ササヒビ体験学習
- 10. 14 南部小学校4・5年ササヒビ体験
- 10. 16 沖代小学校4年干潟学習ゲストティーチャー
- 角田小学校4年干潟学習ゲストティーチャー
- 10. 19 八屋小学校教育講演会講師
- 10. 22 北部小学校4年道徳ゲストティーチャー
- 10. 24 中津市総合計画策定会議出席
- 10. 25~27 韓国泗川市へ研修旅行
- 11. 8 市P連女性部食育講演会講師
- 11. 11 ごみゼロおおいた県民会議出席
- 11. 13 ヒアリング調査
- 沖代小学校4年遠足ゲストティーチャー
- 11. 15 山国川学習館河川清掃&漂着物アートをつくろう運営
- 11. 16 中摩殿畠山下見
- 11. 18 朝日新聞特集取材
- 11. 21 全漁連シンポジウム・パネリスト
- 11. 22 親子で楽しむ森林教室(中摩殿畠山)
- 11. 23 福祉祭り出展(社会福祉協議会)
- 11. 28 大分県道州制研究会出席
- 11. 30 ササヒビ測量調査
- 12. 7 大新田ビーチクリーン&漂着物調査
- 水サミット一周年記念行事パネル出展
- 12. 7 九州大学柳先生ヒアリングヒアリング調査
- 12. 10 舞手川モニタリング調査
- 12. 11 イオン三光伊豆ナレッジパーク贈呈式
- 12. 17 山国川実践者会議出席
- 12. 21 山国川学習館石の観察&ストンペインティング運営
- 12. 25 舞手川モニタリング検討会
- 12. 28 山国川学習館廻り作業教室運営
- 1. 9 学習会レジメ印刷
- 1. 11 水サミット記念行事「海でつながる漂着ごみと市民運動」主催
- 1. 13 ササヒビ定量調査
- とびはぜ隊打合せ
- 1. 14 大分県環境審議会出席
- 1. 16 中津干潟保全の会出席
- ヒアリング調査
- 1. 17 里海講演会協力・舞手川現地視察
- 1. 20 ササヒビパンフレット入稿作業
- 中津市景観研究会出席
- 1. 21 北部公民館高齢者教室講師
- 1. 23 和田公民館高齢者教室講師
- 1. 24 ズグロカモメと冬の自然感察会
- 1. 25 山国川学習館野外観察指導者講習会運営
- 1. 29 NPO運営相談
- 11月~1月 ササヒビパンフレット・ホームページ制作作業
- 12月~1月 海辺の環境学習の手引き書制作・編集作業



伝言版

水辺に遊ぶ会2009年の行事です。

- 3月8日 大新田ビーチクリーン・早春の干潟観察会
- 4月5日 たこつぼ体験スタート ← 同封のチラシをみてね
- 4月25~26日 たこつぼ野焼き
- 5月GW たこつぼ漁体験(予定)
- 5月23日 春の干潟観察会
- 6月6日 山国川を調べてみよう(予定)
- 6月21日 大新田ビーチクリーン&漂着物調査
- 7月19~20日 海と川での安全に遊ぶための講習会
- 7月25日 夏休み干潟観察会
- 8月3日 アカテガニの産卵観察会
- 夏休みのどこか 山国川をイカダで下ろす(予定)
- 9月27日 大新田ビーチクリーン&漂着物調査
- 12月13日 大新田ビーチクリーン&漂着物調査

★詳細は随時チラシ等でお知らせします。

★日程は変わることがあります。

★この他にも楽しい行事を企画中。お楽しみに!

★アヤシイ干潟調査隊も随時募集中です。

**昔の海の写真募集中** ササヒビ・浜遠足・貝掘りなど  
昔の海の写真を探しています

★毎月11日はジャスコでお買物★イオン三光SCイエローレシートキャンペーン★  
毎月11日にお買物をした黄色いレシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」BOXに入れ  
ていただくと、金額の合計の1%が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。

★12月11日、イオン三光SCさんより、「マーカーセット」と「調査用ビニールテープ」を  
いただきました。イオン三光さま、ありがとうございました。レシートを投函して  
くださったみなさまも、ありがとうございました。引き続きよろしくお願ひします。

ホームページ営業中!遊びに来てね!!

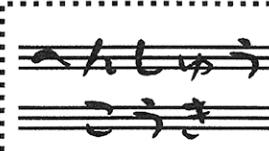
<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>

**水辺に遊ぶ会MUSEUM**

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館です」

<http://www.geocities.jp/kabunyukun/index.html>

メールはこちらへ→mizube1999@yahoo.co.jp



■立春といふ明るさの海の色(沼尻ふく作)  
春を感じる頃梅が咲く。それだけでふんわり嬉しくなるのは年のせいか。(あ)

■ひがたであそぼう~海辺の環境学習の手引き~(発行:大分県)なる冊子をただ今募集中につき、事務局大忙し。良いのができるからお楽しみに!(う)

# アヤシイ千鶴調査隊 韓国泗川に行く!サチヨン

◆あやしい干潟調査隊、中津干潟を飛び出して、おとなり韓国に行つたのだ！ 何しに行つたかつて？ モチロン主たる目的は、韓國慶尚南道におけるヒビの実態と干潟見学に決まつてゐるじゃん。海ごみつながりで何度も大分に来て頂いたKMR（韓国海洋救助団）の李鐘明さんを頼つて、図々しくも彼のフィールドまで押しかけたのである。



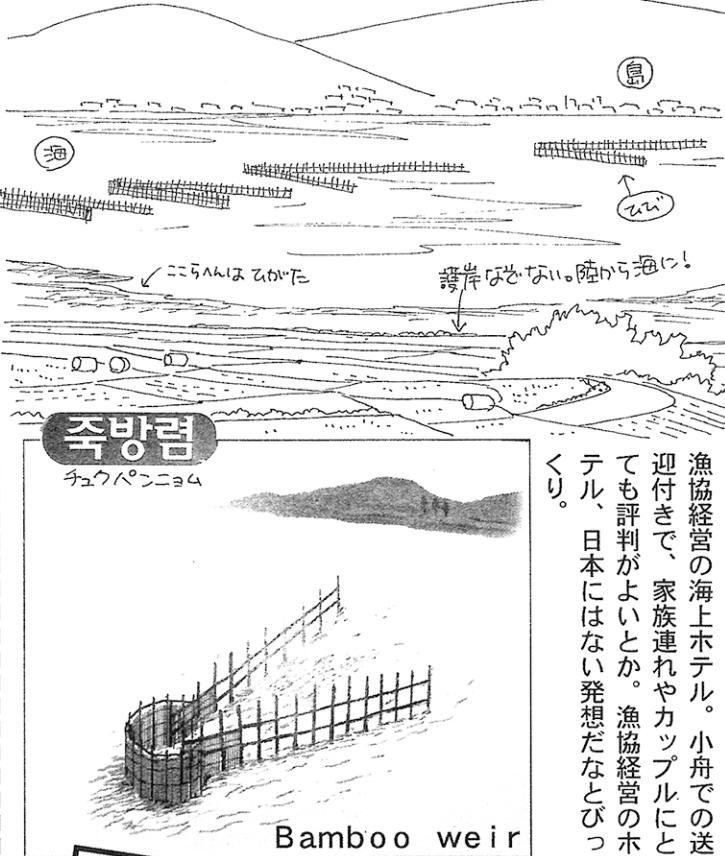
◆初めて見る韓国の漁村は、違和感などみじんもなく、知り合いの漁師さんがひょっこり歩いて来るような錯覚まで持つてしまった。日本と違つては市場の匂い。コガツロニコ

◆私たちが訪ねた10月は韓国ではラムサール会議が開かれていました。韓国の干潟保全のPRのDVDにこんな言葉がありました。

H 師匠に聞く  
中津ん『笛子見漁』

世界のあちこちで、干潟を守ろうと  
いう動きが生まれてきています。中  
津の干潟や海を守ることは、その向  
こうに広がる世界の海を守ることで  
もあります。私たちも負けないよう  
に頑張らないといけないな、と思う  
のです。  
——旅行のお世話に  
——  
『藍国』の大活躍してから  
通訳さんありますよ。  
——

干潟の生態的価値は農耕地の数倍にもなる。干潟は生きており、人間と共に存在していくことはもつと価値があり美しい。



く広い。黄色い不思議な構造物があるぞと思つたら、干潟の生きものを観察するための桟橋で、満潮の時はプロカブ力海に浮いて、干潮の時は干潟の上に乗っかるという便利なシロモノ。ああ、大新田にもこんなのがつたらしいのに。赤や黄色の巨大な風船？が干潟の先にいくつも浮いているので李さんに聞いてみたら、漁協経営の海上ホテル。小舟での送迎付きで、家族連れやカップルにとても評判がよいとか。漁協経営の木テル、日本にはない発想だなどびっくり。

◆小高い丘から畠や田んぼが続き、  
その先には干潟が広がっている。あれ?  
護岸がないーなんて驚く我々。  
干潟の前の広場?にはモミが干して  
あって 農村と漁村の景色が混在し  
ているところが、ひと昔前の日本も  
こんなだったのかな、なんて思う。  
そして 韓国の干潟は広い。とにか

◆初めて見る韓国の漁村は、違和感などみじんもなく、知り合いの漁師さんがひょっこり歩いて来るような錯覚まで持つてしまった。日本と違うのは市場の迫力。カゴの中に力一杯入った貝、貝、貝。所狭しと並ぶ魚、屋根からぶらぶら下がるエイヤコチの干物。そして見つけた！韓国名物のユムシちゃん。元気なアジュンマに声をかけられながら写真をパチパチ。いやー、満喫しましたわ。しかし、ここでも魚介の水揚げ量、特にアサリなどの貝類は減少気味だそうで、そのためにも海の環境保全が大切と力説する李さん。これからも“海でつながる”、交流を続けていき

(師匠) イシヒビは石じやから積んで  
も台風が来ても崩れんけど、多少は  
補充するか、どらんけど、あんまりも  
とが要らん。石を小積み上げるだけ  
じゃ。ずーっと三角に。

(Q) 笹は毎年補充する?

(師匠) そりやもう、毎年。山国川か  
らこないだのような大水が出た時に  
は、沖の方にざーっと流れてしまう。  
大修繕をせんならん。イシヒビは台  
風が来ても崩れん。その近所にある  
石をまた積み上げる。あんまりもと  
がいらんけん、それぞれ良いところ  
もあるけど、収入はこっち(ササヒ  
ビ)の方があるんじやなかろうか。

田尻の向こうからイシヒビ、舞手川  
までがササヒビじやつた。そこが11  
番で終わって、田尻の向こうに御仮  
屋というお宮があつたんじやけど、  
そこから向こうはイシヒビ。私は覚  
えちよる。